

背景

◎甲府市は、武田信玄公の父信虎公が躑躅が埜に館を築いた1519年から甲斐の府中「甲府」が誕生し、2019年には開府500年（2019年）を迎え、本年は、武田信玄公生誕500年（2021年）という歴史的節目を迎えている。
◎甲府城は、豊臣秀吉配下の浅野長政・幸長父子などにより、今からおよそ400年前に築城され、徳川綱吉の側近、柳沢吉保により、甲府城を中心として小江戸と呼ばれるに相応しい賑わいと文化の成熟性を有したまちが整備された。

現状の課題

甲府市は、太平洋戦争末期に空襲を受け、歴史的な趣のある建築物などの多くが消失したが、その後先人の努力により、活気に溢れ魅力ある政治・経済・文化の中心地として復興した。しかし現在、日本の各地方都市と同様に、モータリゼーションの進展等とともに、住民の生活行動や企業活動の広域化により、郊外へ人口や商圏が移動し、本市の顔である中心市街地の空洞化が進んでいる。こうしたことから、本市も中心市街地活性化に係る様々な施策を展開しているが、今後、多くの人々が集う持続可能な街としていくためにも、地域の魅力や文化を創造・発信していくとともに、何百年にわたり本県の中心であり続けた甲府城周辺を含む中心市街地の再活性化は大きな課題となっている。

事業の目的

市民が甲府市の歴史や伝統・文化を再認識する中で、郷土愛の醸成を図るとともに、次の500年に向け地域の特性を活かした活性化を図るために、「お城がつなぐまち 甲府城周辺地域」をコンセプトとして、お城がまちのシンボルとなり、お城を中心にまちと人、人と人がつながり、様々な交流を通じて賑わいを取り戻し、新たな文化を創造するまちを目指す。

これまでの取組

甲府駅南口周辺地域修景計画を県と連携して推進するとともに、新都市拠点整備事業、中心市街地商業等活性化事業、おしろランド（子ども屋内運動遊び場）整備事業、まちなか回遊道路整備事業などを展開してきた。



事業内容

甲府城周辺地域活性化計画整備事業

甲府城の歴史・文化と緑が感じられ、ゆっくり過ごせ、また来たいと思える空間づくり

本事業は、甲府城を中心として城下に栄えた小江戸甲府の賑わいを感じられる整備に向けた確実かつ効果的な事業推進を図るものである。



(参考イメージ)

得られる
成果等

成果・目標

- ①お城周辺で多様な魅力を創出することでエリア価値が向上し、中心市街地を活性化
- ②甲府のシンボルが輝きを取り戻して再生することで、シビックプライド向上に寄与
- ③お城周辺の観光資源をつなぐ回遊ネットワークを充実することで交流人口を拡大

寄附を
する
メリット
等

★企業に求めるもの等

- ① 住み続けられるまちづくりの実現に向けた取組として、社会問題の解決に連携する新たなパートナーシップの構築
- ② 地域の活性化に向けた新事業開発への提案や協力

★企業のメリット

本市のまちづくりに連携していただくことによる、社会貢献の実現や企業のイメージアップにつながるとともに、連携して創り上げたまちが甲府城とともに後世に引き継がれる。

★企業との連携イメージ

本事業を通じて、SDGs関連事業において企業版ふるさと納税を活用し、企業と本市がWIN-Winの関係を構築するために必要な取組を推進していく。



連絡先

甲府市産業部産業総室ふるさと納税課

電話：055-237-5328

FAX：055-227-8065

携帯：090-3041-5111

E-mail：furusaton@city.kofu.lg.jp

担当者：土橋 克己